

福音公園づくり（ヤングボランティアセンターの取り組み）

平成 29 年 12 月 16 日（土）～平成 30 年 3 月 11 日（日）

1 これまでの取組

福音公園は、国道 11 号線高架下にある松山市の児童公園です。雨の日でも遊べる反面、日中でも暗い場所です。子どもたちが明るく元気に遊べる公園にするため、「大人の目によって守られた全天候型の楽しい公園にする」というコンセプトのもと、福音小学校、地域住民、えひめ子どもチャレンジ支援機構と愛媛県ヤングボランティアセンターが「福音公園を考える会」を構成し、平成 22 年度から公園づくりにチャレンジしています。メインとなる橋脚アートは、今回で通算 8 作目となり、アルミ複合板で制作を始めた平成 23 年度からの作品や、公園の名称をデザインした園名板が公園に設置されています。



平成 27 年度作品

「和」



平成 28 年度作品

「ドリームステーション」

2 現地見学会&ミーティング

平成 29 年 12 月 16 日（土）場所：福音小学校・福音公園

最初に、福音小学校において「福音公園を考える会」から、福音公園づくりのこれまでの経緯について説明を受けました。参加した高校生は公園づくりの目的と橋脚アートに込められた思いを確認し、その後、福音公園で現地見学を行い、現状や課題を確認しました。福音小学校の会議室にもどってから公園づくりについて話し合いをした結果、今年度は、古くなり痛みの出てきた平成 23 年度の作品に替えて 1 枚のパネルに瀬戸大橋を描き、テーマを「繋ぐ」とすることに決定しました。また、背景には、福音小学校児童のメッセージである「10 年後の自分にむけて」を入れた鳥形のシールを貼ることにしました。そして、橋脚アートは松山南高等学校砥部分校の生徒が制作し、橋脚アート公開イベントの企画はヤングボランティアセンターの高校生スタッフが担当することになりました。イベントの内容は、児童を対象としたキックターゲット・フリースロー・輪投げに決定しました。また、レクリエーション活動を頑張った児童にはキャラメル味のポップコーンをプレゼントすることにしました。



現地見学



ミーティング

3 橋脚アートの制作

平成 29 年 3 月上旬 場所：松山南高等学校砥部分校

松山南高等学校砥部分校の生徒有志が、「繋がり」をテーマに、瀬戸大橋と夕日に向かってたたずむ二人の人物と犬をパネルに描きました。絵に「人との繋がりを大切にしてほしい」、「仲良く遊べる公園になってほしい」という思いを込めました。福音小学校の児童から集めた約 80 枚のメッセージを貼り、後日保護のためコーティング作業を行い、完成しました。



橋脚アート作成中

4 橋脚アート公開イベント

平成 30 年 3 月 11 日（日）場所：福音公園

公開イベントは、松山南高等学校砥部分校の生徒による橋脚アートの説明から始まりました。その後、児童たちは準備されたスポーツイベントをしたり、パネルに貼られた自分たちのメッセージを見たりして楽しんでいました。また愛媛県イメージアップキャラクターのみきちゃんも登場し、イベントを盛り上げました。スポーツイベントを運営したヤングボランティアセンターの高校生たちは、笑顔いっぱいの児童たちと充実した時間を過ごすことができました。これからも児童たちが安心して楽しく遊ぶことのできる公園づくりに励みます。



橋脚アート前で記念撮影



橋脚アートの説明



ポップコーンをプレゼント



キックターゲット



みきちゃん登場